

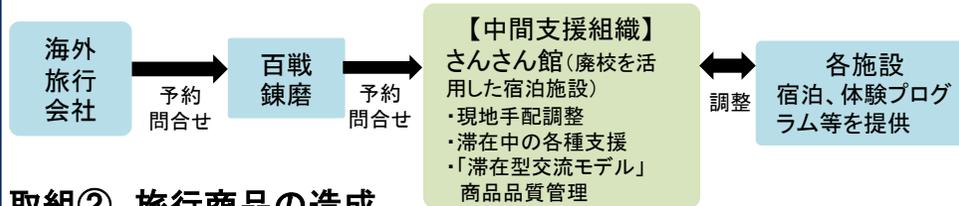
取組全体の目的・概要:宮城県南三陸町、登米市の農山漁村を宿泊地域として、同エリアが持つ魅力的な資源である「自然」・「食」・「文化体験」×「民宿・民泊」による滞在型交流モデルを調査、新規開拓をし、ターゲット国として定めた旅行会社やFIT(個人旅行者)向けに販売・プロモーションを行う。

取組のモデル性:農山漁村における滞在(農泊)と体験を組みわせることで、訪日旅行者に訴求できるコンテンツ化モデル。

主な実施取組の内容

取組① 地元の受入体制の整備

- 南三陸・登米の各体験等をバラバラに手配するのは効率が悪いことから、受入事業者をまとめる中間支援組織を整備(外国語対応は百戦錬磨が担う)



取組② 旅行商品の造成



- 南三陸、登米にある農業体験、漁業体験、伝統文化体験等のコンテンツを調査・整理
- 整理したコンテンツは、2回のワークショップを通じて地域事業者一丸となって磨き上げ、宿泊施設と組み合わせ、旅行商品化



取組③ FAMトリップの実施

- 旅行会社(台湾、香港、タイ5社)の担当者に実際に宿泊、体験してもらい、商品販売の際の材料としてもらうとともに、内容を評価してもらい、商品を改善



取組④ 海外旅行会社による造成、販売

- 台湾 LION TRAVEL社にて販売
- 香港 JALサテライトトラベル社にて販売
- タイ MR HASCO, KTC TRAVELにて販売



成果目標

- ◆ 旅行商品 3プラン
- ◆ 送客人数 300人
- ◆ 宿泊者数 600人泊

実績

24プラン
149人
245人泊

○国籍別販売実績:
台湾29人、香港21人、タイ 19人
その他アジア21人、欧米豪59人

得られた成果

- 地元の農業体験等のコンテンツを磨き上げ、受入体制を整備するとともに、南三陸、登米の新しい宿泊形態としての“体験型宿泊”をターゲット国に認知することができた。
- それぞれのターゲット国において、予約調整ルート、販売ルートを確立することができた。

今後に向けた課題・活動の見通し

- 冬季のコンテンツの拡充や、スノーアクティビティが可能な近隣地域との連携を図る
- 団体受入れに向けた施設在庫の管理及び宿泊可能施設数の拡大・それぞれの施設のサービスレベルの向上を図る